

ナンバリングについて

シラバスに記されている「科目コード」は「ナンバリング」を意味しています。

「ナンバリング」とは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。

文部科学省が「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にて次のような答申を出しました。

『ナンバリング、あるいはコース・ナンバリング。授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み。1 大学内における授業科目の分類、2 複数大学間での授業科目の共通分類という二つの意味を持つ。対象とするレベル(学年等)や学問の分類を示すことは、学生が適切な授業科目を選択する助けとなる。また、科目同士の整理・統合と連携により教員が個々の科目の充実に注力できるといった効果も期待できる。』

○本学の「ナンバリング」は次の要素を組み合わせて付しています。

<例>

- ・ 学科情報 SH 食物 JI 児童 FU 福祉 EI 栄養 YO 幼教 SE 専攻科
- ・ 学年情報
- ・ 学期情報 1 前期 2 後期 3 通年 4 集中
- ・ DPの要素情報 0 1～(表1)
- ・ 科目分類情報 K 教養・基礎科目 S 専門教育科目 B 別表科目
- ・ 区分情報 各学科で定める教育上の区分情報(表2)
- ・ 必修情報 1 必修 2 選択必修 3 選択
- ・ 科目情報(学則の並び順による連番)

例えば、栄養学科1年次前期に開講される、「現代生活論」の場合は、次のようになります。

- ・ 学科情報：EI ・ 学年情報：1 学期情報：1
- ・ DPの要素：1②
- ・ 科目区分情報：K ・ 区分情報：B ・ 必修情報：3
- ・ 科目情報：007

よって「現代生活論」のナンバリングは「EI12-1②-KB3-007」となります。

このナンバリング情報を参照することで、学科、学年、開講時期、科目分類や必修・選択の情報の他、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針・修了認定の方針)との関係や、科目の区分情報などを確認することができます。

※表1 ディプロマ・ポリシーの要素情報

※表2 各科目の区分情報・科目情報

(表1) ディプロマ・ポリシーの要素情報

【食物学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. 関心・意欲・態度	1) 人の健康の維持・増進に関心を持ち、食を通じた課題解決に意欲を持つこと。	1①
	2) 専門的職業人としての使命感を有すること。	1②
③ 2. 思考・判断	1) 保健、医療、福祉、教育、特定給食施設等の現場における具体的な対応、実践を想定した多面的な思考、判断ができること。	2③
	2) 専門的職業人としての倫理観を有し、新しい創造的な思考、判断ができること。	2④
⑤ 3. 技能・コミュニケーション	1) 食・健康に関する諸課題を解決するための方法論や技能を身につけ実践的展開に必要な能力を習得すること。	3⑤
	2) 専門的職業人として円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション力を身につけること。	3⑥
⑦ 4. 知識・理解	1) 科学的根拠に基づいて、食・健康に関する専門的知識を基礎から応用まで体系的に修得すること。	4⑦
	2) 個々の身体状況・栄養状態に応じた栄養サポートや給食管理に関する知識を持ち、説明できること。	4⑧

【児童学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. 知識・理解	1) 子どもの文化や心身の発達について理解している。	1①
	2) 保育・教育や保育者・教育者の職責について理解している。	1②
③ 2. 専門職としての態度	1) 保育・教育に対する使命感と情熱を持ち、保育者・教育者としての職責を果たそうとする態度が身につけている。	2③
	2) 子どもの成長や安全、健康を考え、共に成長しようとする姿勢が身につけている。	2④
⑤ 3. 社会人としての基礎的能力	1) 社会人としての一般教養や、課題解決能力が身につけている。	3⑤
	2) 様々な人と協力・連携し、多様な考えを受け入れつつ自分の考えを伝え、良好な人間関係を形成することができる。	3⑥
⑦ 4) 実践的・応用的能力	1) 保育・教育の実践に必要な技術を習得している。	4⑦
	2) 個々の子どもの学習状況や発達状況に応じた保育・教育を実践することができる。	4⑧

【社会福祉学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. Human Relation = 態度・意欲・関心	1) 人格の形成と豊かな教養を身につけ、柔軟な思考力そして何よりも豊かな人間性の涵養を図ること。	1①
	2) 個人や家族、地域社会におけるさまざまな生活課題・問題に深い関心と問題意識を持ち、その解決に向けて取り組む強い意欲と豊かな人間性を身につけること。	1②
③ 2. Head = 知識・思考・判断	1) ソーシャルワークに関する基礎的知識と専門的知識、さらにこれらに基づく社会福祉援助について理解できること。	2③
	2) 個人や家族、地域社会におけるさまざまな生活課題・問題の課題解決を目指すために、社会福祉政策について理解できること。	2④
	3) 福祉の理念、専門的知識と技術、加えてまちや地域づくりの知見を養う。地域社会やそこの暮らしの中で支援する視点を持ち、地域福祉の充実のため、生活援助の提案・実践力を身につけること。	2⑤
⑤ 3. Hand = 技術	1) 少人数教育により、専門分野の研究会参加や現場体験を重視し、社会福祉士として必要な現場対応力、実践力を身につけること。	3⑥
	2) ソーシャルワークに関する社会福祉援助技術について理解し、実践できるよう身につけること。	3⑦
	3) 地域社会やそこの暮らしの中で支援する視点を持ち、地域福祉の充実のため、まちや地域づくりの技法を身につけること。	3⑧
	4) 福祉分野の実務を支える様々なICT（情報通信技術）活用能力の修得を重視し、ICTリテラシーの涵養を図ること。	3⑨
⑩ 4. Heart = 価値・倫理	1) 人権尊重の価値と倫理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉ニーズを有する人の立場に立ち、その思いや暮らしに寄り添いながら援助を組み立て、実践できること。	4⑩
	2) 社会福祉士として社会に貢献できるよう、地域社会の暮らしに対する強い関心や問題意識、目的意識、柔軟な思考力そして何よりも豊かな人間性の涵養に努めること。	4⑪

(表2) 区分情報・科目情報<社会福祉学科>

※旧カリキュラムの科目も含まれていますので、2022年度履修要項とは科目配置が違います。

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
導入科目	1年次セミナー	A	必修	001
	人権教育		選択	002
共通教養科目	日本国憲法		選択	003
	心理学概論(心理学と心理的支援1)		必修	004
	日本語リテラシー	B	選択	005
	現代生活論		選択	006
	国際社会と日本		選択	007
SDGs 関連科目	地球環境論		選択	008
キャリア科目	キャリアデザイン論	C	選択	009
	ボランティア論(教育系)		選択	010
	ボランティア論(福祉系)		選択	011
	インターンシップ実習		選択	012
	ボランティア実習		選択	013
データサイ エンス科目	情報リテラシーⅠ	D	選択必修	014
	情報リテラシーⅡ		選択必修	015
	情報リテラシーⅢ		選択必修	016
	調査と統計		選択必修	017
外国語科目	英語Ⅰ		必修	018
	英語Ⅱ		必修	019
	英語Ⅲ		選択必修	020
	英語Ⅳ		選択必修	021
	英語資格認定Ⅰ		選択必修	022
	英語資格認定Ⅱ		選択必修	023
	フランス語Ⅰ	E	選択必修	024
	フランス語Ⅱ		選択必修	025
	韓国語Ⅰ		選択必修	026
	韓国語Ⅱ		選択必修	027
	中国語Ⅰ		選択必修	028
	中国語Ⅱ		選択必修	029
	留学生日本語Ⅰ		選択	030
	留学生日本語Ⅱ		選択	031
	スポーツ 健康科目	レクリエーション概論	F	選択必修
レクリエーション実技・実習			選択必修	033
スポーツ健康講義			選択必修	034
スポーツ健康実習			選択必修	035
連科目防災関	災害を知る	G	選択	036
	災害に備える		選択	037
単位互換科目	放送大学科目Ⅰ	H	選択	038
	放送大学科目Ⅱ		選択	039
	大学コンソーシアム岡山科目Ⅰ		選択	040
	大学コンソーシアム岡山科目Ⅱ		選択	041
学科基礎科目	生活福祉論	I	選択	042
	住まいと福祉		選択	043
	福祉情報コミュニケーション		選択	044
	社会の変化と社会福祉		選択	045
	数学の基礎		選択	046

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
専門基幹科目	社会福祉系	社会福祉の原理と政策Ⅰ	必修	047
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	048
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	必修	051
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	選択	052
		児童・家庭福祉Ⅰ	必修	053
		児童・家庭福祉Ⅱ	選択	054
		高齢者福祉Ⅰ	必修	055
		高齢者福祉Ⅱ	選択	056
		障害者福祉Ⅰ	必修	057
		障害者福祉Ⅱ	選択	058
		介護概論	選択	061
		加齢の理解	選択	062
		障害の理解	選択	063
	まちづくり	中山間地福祉のまちづくり	選択	064
		NPO・ボランティア活動論	選択	065
		安全・安心のまちづくり	選択	066
		地域づくりと環境デザイン(演習)	選択	067
		地域づくりと住民参加(演習)	選択	068
		地域経済・地域財政からみたまちづくり	選択	069
	専門展開科目	貧困に対する支援	選択	070
		社会福祉事業史	選択	071
		社会保障Ⅰ	選択	072
		社会保障Ⅱ	選択	073
		福祉行政と福祉計画	選択	074
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	選択	075
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	選択	076
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	必修	077
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		必修	078	
相談援助の理論と方法Ⅰ		必修	079	
相談援助の理論と方法Ⅱ		必修	080	
社会調査の基礎		選択	081	
福祉サービスの組織と経営		選択	082	
権利擁護と成年後見制度		選択	083	
乳児支援サービス		選択	084	
更生保護制度		選択	085	
ソーシャルワーク演習Ⅰ		選択	086	
相談援助演習Ⅱ		選択	087	
相談援助演習Ⅲ		選択	088	
相談援助演習Ⅳ		選択	089	
相談援助演習Ⅴ		選択	090	
相談援助実習指導		選択	091	
相談援助実習		選択	092	
社会福祉体験実習指導		選択	093	
社会福祉体験実習		選択	094	
介護実習		選択	095	
医学概論		選択	096	
人体構造及び日常生活行動に関する理解		選択	097	
リハビリテーション論		選択	098	
保健医療サービス		選択	099	
心理学と心理的支援Ⅱ		選択	100	
社会学と社会システム		選択	101	
医療ソーシャルワーク論		選択	102	
保健医療と福祉	選択	103		
精神保健	選択	104		
家庭支援論	選択	105		
福祉情報論及び同演習	選択	106		
ウェアラブル演習	選択	107		
福祉のまちづくり基礎演習	選択	108		
福祉のまちづくり論	選択	109		

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
その他の専門科目	衣生活論		選択	110
	食生活論		選択	111
	家庭経営学概論		選択	112
	保育及び家庭看護学		選択	113
	教育心理学		選択	114
	特別支援教育の理解		選択	115
	福祉デザイン(衣)論		選択	116
	福祉デザイン(衣)演習		選択	117
	情報のユニバーサルデザイン論		選択	118
	パソコン基礎演習		選択	119
	パソコン演習Ⅰ		選択	120
	パソコン演習Ⅱ		選択	121
	パソコン実践演習		選択	122
	簿記会計学		選択	123
卒業研究系	特別演習Ⅰ		必修	124
	特別演習Ⅱ		選択	125
	特別演習Ⅲ		必修	126
	卒業研究		選択	127

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
教職に関する科目	教職論		選択	128
	教育原理		選択	129
	教育経営論		選択	130
	教育課程論		選択	131
	福祉科教育法		選択	132
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		選択	133
	教育方法技術論・情報通信技術教育論		選択	134
	生徒・進路指導論		選択	135
	教育相談		選択	136
	教職実践演習(高)		選択	137
	事前事後指導		選択	138
	教育実習		選択	139